

## 第 13 回代かき濁水対策を進める WG 要旨

日 時： 令和 2 年 10 月 30 日（金）13：30～15：00

場 所： 高知県香美農林合同庁舎 1 F 大会議室

参加者数： 16 名

### 【議題】

#### 1 2020 年春の濁度調査結果について（報告）

事務局より、資料 1 に基づき、2020 年春の濁度調査結果（写真のみ）を報告した。

#### 【主な意見】

- 光の反射により見え方が変わるため、調査の時間帯や撮影の向きを揃えた方が良い。
- 一日中代かきをしているわけではなく、1 日のうちでも濁っている時間帯は異なる。
- 漁協でも簡易濁度計を所持しており、貸し出しが可能。
- 西日本科学技術研究所が公表している結果を利用できないか。
- 河口の形状が変化し、後川の影響が少なくなった。
- 水の利用形態（上流取水→下流放流）など、課題を農業者に知ってもらう必要がある。

#### 【検討結果】

- 調査時間帯については、各関係機関に割り振っており、それぞれの業務との兼ね合いもあるため難しい
- 秋調査では漁協の簡易濁度計の貸し出しを受け、通常濁度計と両方を使用してデータを収集する。

#### 2 2021 年作付けに向けての普及啓発方法について（協議）

事務局より、資料 2、参考資料 1、参考資料 2 に基づき 2021 年作付けに向けての普及啓発方法（案）を説明した。

#### 【主な意見】

- 香南市の環境基本計画にも農業濁水の項目が入っている。
- 啓発チラシは広報紙への折り込みや店頭への設置を行った。
- 浅水代かきは感覚的には普及している。特に掛け流しとする農家はほぼいない。
- 河川の流量自体が少ない。
- 掛け流しが少なくなっているため、減水量を考慮した水管理が重要
- 強制落水や雨による土壌の流出といった課題があるため、「土は宝」について、もっとアピールする必要がある。

#### 【検討結果】

- 広報紙への掲載文は案のとおりとし、それぞれの機関で掲載する
- 啓発チラシのポイント 1「土壌流出防止」について、キャッチフレーズを考えて、WG メンバーに展開する。